

## 大塚愛さんといっしょに学んでいます

☆予算編成の勉強会 (1.18) / 井奥雅樹さん (高砂市議会議員)

大塚愛さんが、初めて当初予算審議ということでの勉強会でしたが、私も大いに学びました。税金をどう分配するのかは、行政・議員の大切な仕事です。



☆TPPと自治体 (2.4) / 奈須りえさん (大田区議会議員)

TPPでは自由化＝規制緩和が進み、それは農業にとどまるわけではありません。私たちの基本的な人権・生活を守るために存在していた多くの規制が緩和されれば、無法地帯が広がり、弱肉強食で自己責任の範囲が広がります。特区による規制緩和の既成事実が進んでいます。自治体議員は、何が起きているかの本質を知り、政策判断をと檄をいただきました。



☆幸福度指標 (2.6) / 坂本正さん (熊本学園大学教授)

熊本県では2008年度から県民幸福度の最大化を目標にしています。4分野12項目を5段階で数値化。その総量が幸福度です。坂本さんは指標作りも含めて携わってこられました。指標は県民の皆さんとワークショップをして練り上げたとのこと。幸福度は地域によって異なり、地域ごとに住民集会をもって、どの指標に重点を置くのかを話し合っているそうです。



## 「こんな Web ページ / 岡山市議会 & みどり岡山」

☆岡山市議会では広報番組「あつ晴れ岡山市議会」の放映が議会ごとに行われています。議会で審議されたこと、委員会の紹介等にあわせて、各会派の紹介や議員のお昼ご飯を伝える「シギメン」コーナーもあります。2月議会を受けての番組のなかで、私は「シギメン」を担当しました。2月24日に撮影があり、ステキな橋本昌子リポーターと出会いました。写真はマイクをつけているところ。岡山市議会 HP から見ることができます。☆みどり岡山 HP にも、大塚愛さんと私の議会のまとめを YouTube でアップしています。どうぞ、ご覧ください。



編集後記★我が家のネコちゃんは4月に24歳になりました。かなりゆっくりペースになりましたが、この一年も元気でと願っています。☆「虹色通信」

がNo.40、議会活動が丸10年となりました。未だ課題は山積。感謝とともにこれからもご一緒によりしくお願いします。



## のぞみ日誌から

### 市民ネット市政報告会

市政報告会を定例議会ごとに行っています。今年に入ってから、1月20日(南ふれあいセンター)と3月17日(岡山市議会棟)です。活発な質問や提案が多く、活動の糧となっています。私とのお話を希望される場合は、いつでもお問い合わせください。



### ネグロス・キャンペーン岡山 30周年企画

ネグロス・キャンペーンはフィリピン・ネグロス島の支援・交流グループで、私は設立当初から関わってきました。30周年を記念して、1月22日にトークイベント「若者たちと語り合う。フィリピン・ネグロス島の村づくり & 岡山・美作の地域おこし」を行いました。日本でもネグロスでも、素晴らしい若者たちが生まれ、これ以上の幸せはありません。

### イノシシ食肉処理加工施設「ジビエ処理場」

2月3日、吉備中央町にある施設の見学に大塚愛さんと行きました。地元の農業者による「賀陽ウリボウクラブ」により運営されています。捕獲されたイノシシの処理・精肉・販売です。販路開拓に多くの知恵を絞っておられるのに感心しました。



### 「尼崎市女性センター・トレピエ」と「性暴力被害者センター・ひょうご」

2月8日に、DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山メンバーの女性議員4人で視察をしました。写真中央はトレピエの宮下所長です。参考にしたいこと盛りだくさん、道中もおしゃべりしどおしで、有意義な時間でした。



### 「檻の中のライオン」 in おかやま / 憲法おはなし会

権力はライオン、憲法は檻。権力を閉じ込めておくのが憲法です。ライオンの人形を用いて、椋大樹(ひろしま市民法律事務所所長)さんが、憲法の核心をわかりやすく伝えてくださいました(2月10日)。子どもも大人も、ぜひ、本をお読みください。



## 岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.40

2017年2月議会報告

# おにきのぞみ

## 虹色通信

2017年5月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F  
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724  
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262  
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp [http://yaplog.jp/niji\\_oni/](http://yaplog.jp/niji_oni/)



## 子どもの笑顔ひろがる「おかやま協働のまちづくり賞」

### おかやま協働のまちづくり大賞

今年の入学式では桜が満開でしたね。子どもたちのピカピカの表情に、一人ひとりが健やかに育つようにと、気持ちがあらたまります。

2016年度に施行した「岡山市協働のまちづくり条例」(全部改正)にもとづいて「おかやま協働のまちづくり賞」がスタートしました。第1回大賞は、「病気の子どもたちが安心できる居場所づくり」(NPO法人ポケットサポート)です(2月)。岡山市保健所・岡山大学病院と協働し、学習支援と交流イベントを通して病気の子どもをサポートするものです。入賞は大賞を含めて5つで、こども食堂、放課後宿題教室、キッズフェスティバル、地域交流でした。

すべて子どもにかかわるもので、子どもの置かれている状況がシンドイととらえることもできます。保育園への未入園児童は1,636人(2次調整後、2月6日時点)と申し訳ない状況です。岡山市にはまだまだできることがあります。子どもは私たちの宝です。みんなで育てましょう。

同じく2月には、条例にもとづく推進計画が策定されました。市民の力がいかされる協働の

まちづくりを更に進めていきましょう。もちろん対等なパートナーシップがベースです。

### 東日本大震災 / 今、私たちにできること

私の今年の3月11日は、「京山公民館 東日本大震災関連企画 / 今、私たちができること・ファイナル」への参加です。震災のあった2011年7月にスタートし、ゲストスピーカーを招きながら、20回にわたる多彩な視点からの講座でした。地域に避難をしてこられた方もたくさん参加をされていました。互いに気持ちを分かち合い、つながりあう講座でした。いただいたものを大切にしていきたいです。

震災から7年目。2017年3月で福島県の区域外避難者(自主避難者)に対する住宅支援が打ち切られ、困難な状況に直面している人たちがいます。

時間を重ねるなかで浮かび

上がってくる課題もあり、議会質問で岡山市の支援策を質しました(中面掲載)。原発事故は遠いできごとではなく、私たち自身の課題です。安心して暮らす、子どもを育てることができるよう、みんなで取り組みたいです。

おにき・のぞみ



5日間にわたって行われた「おかやま協働のまちづくり展」(岡山市役所市民ホール)

## 2月議会 個人質問から

質問項目

1. 岡山市の文化芸術 ～市民の力をいかす視点～
2. 避難者・移住者施策 ～3.11から7年目を迎えて～
3. 新斎場 ～公正で民主的な進め方を～



2月議会は次年度の当初予算を決めるボリュームのある議会です。そして、岡山市のこれからの羅針盤である長期構想を具体化した前期中期計画を含めて、74件の議案が審議されました。☆岡山市の保育園待機児童解消はまったなしの状態です。質問が多かったのですが、未入園児童の数はさらに増えています。多くの家庭や女性の人生設計に影響を与えています。迅速に対応しなければなりません。

### 岡山市の文化・芸術

新しい文化芸術施設（新市民会館）が、老朽化した市民会館と市民文化ホールを統合して整備され、2021年度末の完成をめざしています。岡山市は今年度、長期的な視点から施設で展開する事業などを盛り込んだ管理運営基本計画を策定します。

**鬼木** 岡山市自身が、岡山で文化芸術に携わる人を中心に市民運営委員会的な場をもって討議をし、市民協働で基本計画を練り上げるべきではないか。開館後の運営も市民協働で行うべきではないか。

**市民生活局長** 基本計画策定にあたっては、さまざまな分野の有識者で検討懇談会を設置し、ご意見をいただきたい。シンポジウムやワークショップを行い、市民の関心や期待が高まるものにしたい。運営は、地域の方、まちづくりや子どもに関する活動をしている方なども加えて、知恵を出し合う場が必要と考えている。

**鬼木** 新しい文化芸術施設には、企画力、制作力をもった人材の育成が求められます。50年、100年先までも視野にいれた持続可能なあり方への工夫が求められますが、どのように行われますか。

**大森市長** 私も何といても人が重要だと。公演などを企画制作する能力をもち、事業を総括できる総合プロデューサーを配置します。さらに専門的な知識と実施する能力をもった人材を配置したい。



文化芸術をベースに地域を豊かなものにしていくためには、市民の声を聞くことにとどめるのではなく、計画をとともに練り上げることが必要です。

文化芸術振興ビジョンの改定についても、障がい者の皆さんとのとりくみと郷土芸術振興について質問をしました。

### 避難者・移住者施策

**鬼木** 2012年度から毎年調査をしている岡山理科大学避難世帯生活実態調査で、今回とくに気になったのは、子どもについてです。2014～2016年度にかけて、学校へ行きたがらない割合が10%から、母子家庭では55%、家族一緒の家庭では40%と高くなっています。また、親の心の健康状態においても配慮が必要な数字が出ています。民間で相談業務にあたっている方の聞き取りにもその様子が見えてきます。

どのようにその困難さを知り、関係部署の理解を深めていけますか。

**危機管理局長** アンケート調査や意見交換会などで、思いや課題の把握に努めています。民間団体と意見交換などを行ってまいりたい。職員が避難者のことを理解し、一層ていねいに対応するよう更に周知していきます。

**教育長** 教員の理解を深めるよう、不登校や生徒指導の担当者を対象とする研修等により深めていきます。実態のより正確な把握にもつとめていきます。

**保健福祉局長** 保健師やケースワーカーはそれぞれの方の課題に対応策と一緒に考えていくのが重要な仕事です。不安な気持ちを解消できるよう努めていきたい。**鬼木** 福島県からの自主避難者の応急仮設住宅供与終了にともなって、全国的には様々な支援策が自治体で行われているが岡山市においても行ってほしい。

子ども被災者支援法に基づく避難者については一時入居（減免）を認めているが、来年度以降も続けてほしい。

**都市整備局長** 入居期間については最大5年間とし、その後、市営住宅への入居資格を満たす方は、家賃の負担は生じますが特定入居（抽選ではなく）など、継続的な支援に努めています。また、子ども被災者支援法に基づく避難者は引き続き包括的な支援が必要であり、目的外使用の一時入居を継続します。なお、正式入居希望の場合は、入居資格の緩和や優先抽選などの優先的な取り扱いを検討していきます。



全国避難者情報システム登録をはじめ、避難者への理解と支援施策の継続・徹底を求めました。不十分なところは更に働きかけていきます。



春の保養プランから（子ども未来・愛ネットワーク）

### 新斎場

岡山市北区富吉が候補地の新斎場には、最も近隣の地元をはじめ反対している方がおられます。

2016年度は町内会が所有もしくは管理する公民館・集会所などの改修等22事業に約2,200万円、2017年度については、約5,000万円の予算が斎場施設

### \* これていいの? ～反対した議案から～ \*

#### ▼旧後楽館中・高（天神校舎）跡地

旧後楽館中・高（天神校舎、4,884㎡）跡地について、昨年の9月議会、大森市長が「非常にポテンシャルの高い土地。公募による売却を前提に検討していきたい」と売却方針を答弁。議会に凶ることも、市民に問うこともないままの突然の表明に驚きました。

11月議会の教育長答弁では「教育委員会では議論をしていないので、議事録はない」。2月総務委員会では「教育委員会・財政局・政策局の担当者が立ち話等で方針を決定、市長レクに臨んだ」。意志形成過程の

### \* 保健福祉分野で気になること \*

#### ◆待機児童解消にむけて迅速な対応を

待機児童対策はまったなしです。保育施設の確保・充実とともに保育士確保が必要で、保育士の処遇改善が必要です。岡山市は新年度予算で市内の私立認可保育所などに勤務する保育士の給与を平均2%（月額6,000円程度、約1,600人対象）の上乗せをします。国も2%しますので合わせて4%です。私立認可保育園保育士の年収は、民間一般事務員や公立保育園と比較して低いので、委員会ではなぜ2%なのかなどの議論が交わされています。

岡山市自身も積極的な正規保育士採用、臨時職員の処遇改善に取り組まなければなりません。岡山市の正規保育士は、2016年度に42人退職していますが、採用は、正規27人、任期付（3年間）30人です。保育幼児教育職の採用に206人の申し込みがありました。保育士希望の方はいらっしゃるのです。

幼稚園の余裕教室を利用して、公立2園、

関連整備事業補助金として計上されました。集会所の改善には、本来なら地元負担や限度額がありますが、今回は全額支給されています。

建設決定は、都市計画決定をもって正式に決まるものですが、決定の前に、迷惑施設に対する補償金的な性格の斎場施

議事録は存在せず、検証することもできません。2017年度予算案歳入に、最低売却価格7億9,830万円が計上されていますが、不動産鑑定評価額も建物解体価格も示されていないので、この価格が妥当なものかどうかを判断することができません。

近隣の中央小学校は児童数が急増し、校舎もグラウンドも狭くなっています。西大寺にある教育センターも、こちらのほうが利便性は高いです。耐震改修困難な旭公民館の移転先の候補地にも複合施設で考えられます。市民の財産を市民のために活用すべきではないでしょうか。

私立2園で緊急的な一時預かり事業をスタートします。公立幼稚園の余裕教室は42園で72室あります。保育園事業を行う、3歳児保育や延長保育を行うなどの活用ができます。できることはしていきましょう。

#### ◆里親制度の活性化を

市民ネット代表質問では里親制度の活性化についてとりあげました。答弁を聞いて嬉しかったことは、今年度の里親登録数が、格段に多いことを知ったことです。

2015年度末に57組だった登録数が、2016年度末に73組と増えました。これまで、年間3組～8組の登録でしたから、16組は素晴らしい。今、里親登録を進めるための市民協働モデル事業が行われていますが、この間、市民も岡山市もがんばってきた成果だと思います。とはいえ、まだまだ充実が必要なので、さらなる取り組みを。



児童擁護施設の子もたちと花育ワークショップ

設関連整備が行われ、多額の税金が使われています。財政局長は都市計画決定と予算措置は、直接的には関係ないとの答弁でしたが、事業に賛成すれば全額支給され、そうでなければ一円も出さない。金銭で心を操るようなやり方を行政がしているのでしょうか。

\*保育園の入園調整。点数（保育の必要性において配分の高い人が必ずしも入園できなかつた仕組みが、来春からは変更されます。

